

科目	精神に障がいをもつ人の生活と看護
時間数	1 単位 15 時間
授業時期	1 年
講師名	③大上典子 ③武田虎太郎
実務経験	③看護師
ねらい	精神に障がいをもつ人の回復に向けた援助のあり方と看護師の役割について学ぶ
目標	1. 地域で生活する人が、心の健康のバランスを崩してしまう状況を理解する。 2. ケアの原則を理解し、関係性を構築していく方法を学ぶ。 3. 入院から退院まで、地域での生活に橋渡しすることをイメージした回復支援の実際を学ぶ。
1	1. ケアの人間関係(8 章) (1) ケアの原則と方法
2	(2) 関係のアセスメント —プロセスレコード(事例)を活用した困難事例の検討を通して—①
3	2. 回復を支援する(9 章) (1) 回復の意味 (2) 急性期病棟の事例
4	3. 入院治療の意味(11章) (1) 日常生活での「つまづき」から、受診・入院 (2) 入院のかたちと、治療の場としての病院・病棟
5	(3)入院中の観察とアセスメント
6	(4) ケアの方向性を考える (5) 患者の参加とケアプランの立て方
7	(6) 退院に向けての支援
8	まとめ
評価方法	時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況(プロセスレコードの提出内容・ロールプレイの参加状況)を総合して評価する。終講試験 60 点以上を及第点とする。
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②,医学書院